

令和4年度 第一回横浜市学校保健審議会会議録	
日 時	令和4年12月22日(木) 午後6時30分から8時30分まで
開催場所	横浜市庁舎18階 みなと1・2・3会議室
出席委員 8名	天貝 徹、梅澤 秋久、大木 昭子、大久保 辰雄、鈴木 裕子、高岡 香、竹原 浩太郎、物部 博文
欠席委員 3名	佐藤 豊、田邊 麻耶、堀元 隆司
開催形態	公開(傍聴者0人)
決定事項	1 会議録の確認者は鈴木委員に決定した。
議 事	<p>1 会議録確認者の指名 横浜市学校保健審議会運営要領第6条第2項に基づき、会議録の確認者は鈴木委員に決定した。</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 学校関係者に関する新型コロナウイルス感染症の感染状況及び感染対策について(事務局) 令和2年度から令和4年度までの学校関係者に関する新型コロナウイルス感染症の感染状況及び感染対策について報告した。</p> <p>(2) 学校安全部会及びゲーム障害に関する部会について(事務局) 学校安全部会及びゲーム障害に関する部会の開催状況について報告した。</p> <p>(3) 児童生徒に対するゲーム障害・ネット依存に関する実態調査について(事務局) 令和2年10月に横浜市立小中学校において実施した児童生徒に対するゲーム障害・ネット依存に関する実態調査について、令和3年11月19日付横浜市記者発表資料(「横浜市立小中学校児童生徒に対するゲーム障害・ネット依存に関する実態調査」の報告書が提出されました。)により報告した。</p> <p>(4) ゲーム障害・ネット依存に関するプロジェクトチームの進捗状況について(事務局) 令和4年4月に設置した教育委員会事務局内のゲーム障害・ネット依存に関するプロジェクトチームの進捗状況について報告した。</p> <p>3 審議事項(事務局) 報告事項エ(「ゲーム障害・ネット依存に関するプロジェクトチームの進捗状況について」)の今年度や来年度の取組について説明した。</p>

(審議会委員より出された意見)

- 4年生、5年生からゲーム依存傾向が高い結果だった。3年生あたりの体育科の保健教育で一日の生活という単元があることや特別活動の中で健康や安全に関わる部分があり、それを念頭にリーフレットが作られていると思う。
- 令和4年度、5年度の取組について妥当だと思うが、医師の役割が示されていないのが学校医担当としては残念であり、学校における精神衛生や精神保健が着目されていると考えている。
- 自分では声を上げられずネットの中にしか友達がいなくて子供や、ネットの中の友達が本当の友達だと思っている子供が多くいると思う。チラシを配布して取り組むことのできる子供は、言えば理解できる子供であり、例えば不登校、学習障害、学校では居場所がないなど、本当に必要な子供に目を向けてあげる余裕があればと思うがすごく難しいことだとも思う。
- 具体的な取組の1番目の普及啓発、3番目の相談機能の強化、そして家庭としては、2番の家庭と連携して具体的にどう取り組むのかというのがやはり重要と思っている。学校で子供にリーフレットを配って、それを保護者にも周知するような両輪でやっていって、コミュニケーションを促すような形になれば非常にいいのではないかと思う。
- 今回の取組で大事なものは、よく分からないけれどスマホを触ってゲームをしてしまい、寝る時間が遅くなって学校に行きたいのに行けない子供や、自分で何が起きているかよく分かっていない子供をちゃんと拾い上げることであり、普及啓発により皆様にしっかりと知識を持っていただくべきである。
- 教育と保護者との連携が重要になるのだろうと思う。ただ、家庭の協力を得ることが難しい場合、子供に不利益を負わせないというようなことを考えて、きちんと取り組んでいただきたいと思う。
- 学校としては、教育を通してまず子供の状況をよりよくしていくことが中心となると思う。学校内であれば養護教諭やスクールカウンセラーがいる。学校医から専門医に繋がっていることが大事になってくると思う。
- 全員を対象にするゲーム依存に対する取組として、小学校3年生の保健領域で行う際のポイントは、いかに当事者性、あるいは行為主体性というが、もしかしたら全くゲームをやったことない子供も、ゲーム依存はよくないという授業がつけられるかどうかかかっていると思う。
- 全体への指導として「子どもの社会的スキル横浜プログラム」等も生かし、子供たちがポジティブに、よい人間関係の下に楽しく学校生活を送っていけるように意識的に指導していけるといいと思う。ゲームやネット依存に特化した指導については、授業風景の動画などを作成すると、具体的で先生方も参考にしやすいと思う。浸透させるには啓発が大切だと思う。あまり関心のない保護者の方もいろいろな場面で目にすることによって、市ではこれに力を入れて取り組んでいるようだと思えるのではないかと。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モデル事業を実施する協力校では、学校保健委員会も活用し、このテーマでクラスの取組みをするという機会になると思う。保護者には、学校行事等で保護者が学校に来る機会にポスターを掲示するなど、インパクトを与える取組をぜひ多角的に検討していただきたい。</li> <li>● 委員から貴重な意見が出たので、本日の議論を踏まえて引き続き取り組んでいただきたい。</li> </ul>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 委員名簿</li> <li>● 横浜市学校保健審議会条例</li> <li>● 横浜市学校保健審議会運営要領</li> <li>● 横浜市附属機関の会議の公開に関する要綱</li> <li>● 学校関係者に関する新型コロナウイルス感染症の感染状況及び感染対策について</li> <li>● 学校安全部会及びゲーム障害に関する部会について</li> <li>● 横浜市記者発表資料「「横浜市立小中学校児童生徒に対するゲーム障害・ネット依存に関する実態調査」の報告書が提出されました。」</li> <li>● ゲーム障害・ネット依存に関するプロジェクトチームの進捗状況について</li> </ul>
特 記 事 項	次回開催予定：令和5年中